

介護実習の段階別展開と目標

《実習の意義》

- 1) 既習の介護福祉の理念、知識、技術を駆使して実際の利用者を対象に介護過程を展開し、科学的介護実践能力を習得する。
- 2) 介護福祉現場における学習体験を通して、介護福祉専門職としてのアイデンティティを形成する。
- 3) 介護福祉を取り巻く社会情勢に目を向け、社会のニーズに応じた専門職の役割を認識し、自己を高める姿勢を養う。

《介護実習の展開と目標》

段階	年次・時期	実習施設	目的	目 標
実習Ⅰ(2単位)	2年次 春期休業中 集中2週間	障害者支援施設 特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 認知症対応型共同生活介護 盲養護老人ホーム 生活介護事業所 医療型障害児入所施設療養介護事業所 小規模多機能型施設	利用者の介護ニーズと介護福祉専門職の役割を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> ①福祉施設で生活する利用者の生活状況及びその環境を理解する。 ②利用者の生活課題を把握し、介護の役割・機能について理解を深める。 ③利用者の日常生活を支援する基本的介護を学ぶ。
実習Ⅱ(3単位)	3年次 夏期休業中 集中3週間	医療型障害児入所施設 療養介護事業所 特別養護老人ホーム	利用者の個別性に 応じた介護過程の展開を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> ①利用者の生活背景や障害の程度に応じた介護を展開する。 ②介護チームにおけるフォローシップ、リーダーシップを学ぶ。 ③介護活動と関連する他職種との連携・協働について学ぶ。
実習Ⅲ(1単位)	4年次 春学期 定日6日間	(ヘルパーステーション) 訪問介護事業所	地域で在宅生活を する利用者の介護、生活支援のあり方を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> ①在宅生活をする利用者を個別訪問する際の基本的マナーを学ぶ。 ②在宅における利用者の生活課題を把握し、介護を展開する。 ③在宅生活を支援するケアチームのアプローチについて学ぶ。
実習Ⅳ(4単位)	4年次 夏期休業中 集中3週間 + 秋学期定日6日間	介護老人保健施設	利用者の施設から在宅生活への移行を視野に入れた生活支援のあり方を学ぶ	<ol style="list-style-type: none"> ①利用者の施設から在宅生活への継続した介護を展開する。 ②ケアチームの総合的アプローチ(ケアマネジメントシステム)について学ぶ。 ③介護管理の意義とその方法について学ぶ。